



すずらん

たのもしく ただしく たくましく

天理市立福住小学校

第9号 令和2年1月20日

文責 神元 聡

2020年（令和2年）子年（ねどし）の幕開けです！

昨年元号が令和に変わり、新しい時代がスタートしました。本年度は、干支が最初に戻って子年になります。ネズミは多産であり繁栄の象徴だそうです。子年は世の中が大いに盛り上がると期待されています。過去の子年を調べてみると、1960年、池田内閣の「所得倍増」政策により日本は高度成長の時代に突入します。1972年、札幌でアジア初の冬季オリンピック開催。日の丸飛行隊がメダルを独占。1984年、日経平均が初めて10000円を突破。1996年、ルーズソックスが大流行。2008年には、ノーベル賞に日本人が4人も選ばれました。今年（2020年）は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年。日本中が盛り上がることは、間違いなしです。

福住小学校も、令和3年度より小中一貫教育が新しくスタートします。子年の世の中とともに大いに盛り上がり、繁栄していく年になることを期待しています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新春 ニューイヤー・コンサート開催！

天理高等学校の吹奏楽部と弦楽部による『第21回ニューイヤーコンサート』が、開催されました。吹奏楽部と弦楽部のみなさんが、鳩ぽっぽの世界旅行・サザエさんファンタジー・見上げてごらん夜の星を・情熱大陸・私のお気に入り・宝島・ふるさと・パプリカを演奏してくれました。ニューイヤーコンサートは、ライブなので演奏者との距離感は大変近いものがありました。音の振動をそのまま肌で感じるができます。体で感じた振動が、感動に変わっていきます。また、演奏者の表情も間近に見て取れます。にこやかに笑顔で演奏してくださると、子どもたちも自然と笑顔になります。ソロの場面で緊張している演奏者を見ると、子どもたちも自然と力が入ります。演奏者と観客が一体となって音を楽しんだライブならではの体験でした。最後の演奏となったパプリカでは、体育祭で頑張ったなじみのダンス曲ということもあり、子どもたちは前に出て、天理高校吹奏楽部の演奏に合わせてダンスを楽しみました。

